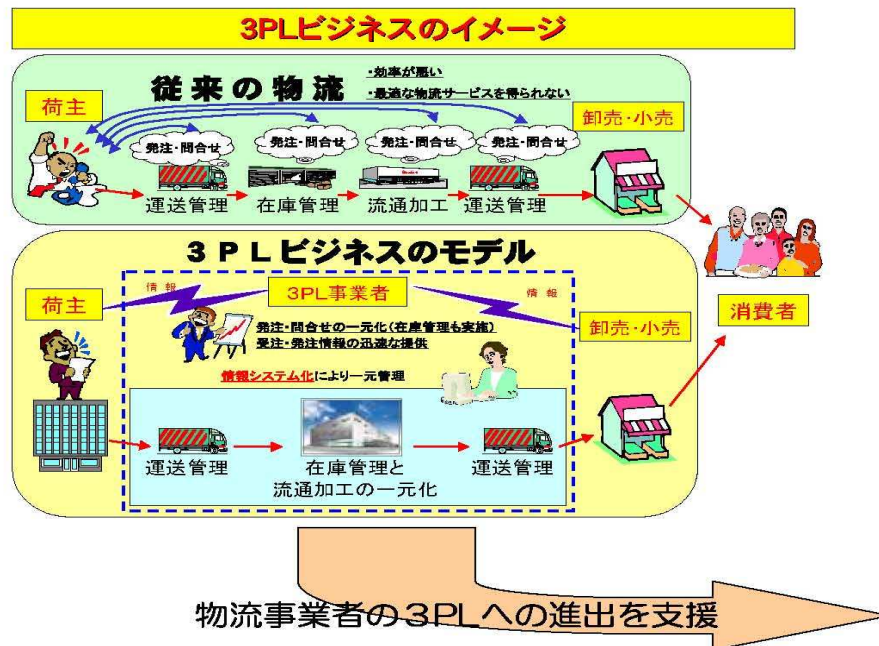


● ロジスティクスサービスにおける雇用創出の見込み(530万人雇用創出プログラム提言概要)

ロジスティクスとは、経済活動における物資流通の円滑化を実現するため、調達・生産・販売と連動して、輸送・保管・包装などを総合的に管理する機能である。

現状認識・今後の展望

- 1990年代に米国で登場した新たな物流サービスである「サード・パーティ・ロジスティクス(3PL):荷主から物流を一貫して請負う高品質のサービス」は、荷主企業の本業への経営資源集中や物流部門における規制緩和等を背景に高い成長を継続(年率15~18%)。
- 我が国の荷主企業は、コアコンピタンスを進めていく中で、消費者の多様なニーズに適切に対応するため、物流業務をますます物流事業者にアウトソーシングする傾向が拡大すると予想される。
- 倉庫業法、鉄道事業法、貨物運送取扱事業法、貨物自動車運送事業法等の改正により参入等に関し、規制緩和を実施し、柔軟な事業展開が可能となった等、中小事業者でも3PLに取り組むことが容易になり、その拡大のための条件整備がなされた。
- 我が国における3PLの高い成長のためには、中小物流業等における人材の育成が求められている。
- 教育プログラムの開発、テキスト作成、研修の開催等、中小の物流事業者の3PL進出に効果的な人材育成支援を国交省等が実施。



～3PL人材育成事業の実施～

H16.3.31～ 3PL人材育成推進協議会

- ・産官学からなる「3PL人材育成促進協議会」を立ち上げ、研修カリキュラム、テキスト等を作成

H16.10.5～ 3PL人材育成研修

○概論編(1日)

定員・東京地区 400名×2回
 名古屋地区 300名×1回
 大阪地区 300名×2回
 福岡地区 200名×1回
 計1,900名 6回開催

○実務研修(1泊2日)

定員・各地区 50名×12回
 計600名 12回開催